

七
十
六

明治四十年八月十三日議長 宮中へ被 召別紙
勅語ヲ賜リ本院臨時會議終了後
臨御ノ上内閣總理大臣外務大臣列席日露協約ニ
関スル説明アリタリ

樞
密
院

朕日露兩國ノ親交ヲ厚クシ且兩國間ニ
於ケル將來紛争ノ原因ヲ除去スルハ東
洋ノ平和ヲ維持スルニ於テ最モ緊要ナ
ルヲ願ヒ朕カ政府ヲシテ露國政府ト交
渉セシメ今ヤ協約成ルヲ告ク其詳細ニ
至リテハ内閣總理大臣及外務大臣ヲシ
テ之ヲ説明セシム

樞密院

日露協約
書

本
書

朕日露兩國ノ親交ヲ厚クシ且
於ケル將來紛争ノ原因ヲ除去
洋ノ平和ヲ維持スルニ於テ最
ルヲ願ヒ朕カ政府ヲシテ露國
涉セシメ今ヤ協約成ルヲ告ク
至リテハ内閣總理大臣及外務
テ之ヲ説明セシム

福